

発展科目
特集

TPO に応じた ライティングスキルの育成



愛知淑徳大学「日本語表現」科目の三つの特長とは？

愛知淑徳大学では2010年4月に全学共通履修科目「日本語表現」を開講しました。そのカリキュラムには、以下の三つの特長があります。

- ①〈基礎〉〈応用〉〈発展〉の3段階からなる体系的・段階的な学修計画。
→【解説1】
- ②大学での学修に求められる基本的な表現スキルを学ぶ基礎科目を、全学部学生が1年前期に受講。
- ③より高度な表現スキル修得をめざした発展科目により、継続学修をサポート。

特に、③を全学共通科目として開講している大学は少なく、本学が誇るカリキュラムのひとつになっています。

【解説1】「日本語表現」の3ステップカリキュラム



〈発展〉2～4年

より高度で実践的な表現スキルをコース別に修得



〈応用〉1年後期

学術レポートの作成技術やプレゼンテーション技術の修得

〈基礎〉1年前期（全学必修）

大学の学修基盤となる基本的な文章表現技術の修得

発展科目で継続学修をサポート！

現在、初年次教育の一環としてライティングスキルを扱う大学が増えています。しかし、本質的な日本語運用スキルは半年や1年で身につくものではなく、修得には時間をかけた学修の積み重ねが不可欠です。実際に、基礎・応用科目を終えた学生たちは継続学修の必要性を実感し、その後、全体ののべ2人に1人が発展科目を受講しています。

発展科目でどんな表現スキルが向上するの？

〈発展〉では、より実践的な表現スキルを学ぶため、三つのコース別に計7科目の授業が開講されています。→【解説2】
学生は、これらの科目を、目的や関心に合わせて自由に選択履修できます。

発展科目では、コースごとに修得できる表現スキルが異なります。では、各コースで学生が実際に作成した文章をご覧ください。

【解説2】発展科目のコースと科目群

コース	学修内容	科目
アカデミックコース	専門科目の学修に必要な、高度な表現スキルを学ぶ	ライティング・スピーキング・リーディングの3科目
ビジネスコース	社会生活に必要な、実用的な表現スキルを学ぶ	ライティング・スピーキングの2科目
クリエイティブコース	豊かで創造的な日本語表現スキルを学ぶ	ライティング・スピーキングの2科目

アカデミックコース 〈ライティング〉

このコースでは、自分の意見を論理的に展開する学術レポートを作成する方法の修得をめざしています。下は、Twitterの問題点とその解決策を独自に検証・分析したレポートです（紙幅の都合上、一部省略）。

なぜTwitter中毒になるのか

1 Twitterとは

本レポートは、簡易投稿サイトTwitterにおける「Twitter中毒」という現象の問題点と解決策について述べるものである。

Twitterとは、2006年6月にObvious社（現Twitter社）が設立したオンライン・コミュニケーション・サービスである。ツイートと呼ばれる140字以内のメッセージをユーザーたちが送受信し、交流をはかる。同年7月にサービスを開始し、2010年には登録ユーザー数は1億人を突破した。

マーケティングリサーチ会社ニールセンによると、2011年3月の調査では、日本国内のTwitter利用者数は1757万人と発表された。つまりTwitterは、日本国内の10人に1人以上が利用するオンラインサービスなのである。しかし、Twitter利用者間には「温度差」がある。「1か月に何度かつぶやく」という程度のユーザーから、「数時間、数十分単位につぶやく」というヘビーユーザーまで様々だ。

2 Twitter中毒者の傾向

本レポートでいうヘビーユーザーとは、Twitterユーザーの発信するメッセージである「ツイート」の累計が1万を超える者や気に入ったユーザーのメッセージを受信できるよう登録する「フォロー」をしている、されている数が3桁前後、もしくはそれ以上の者であり、かつ日常的にTwitterを利用している者を指す。以上の条件を満たしていれば、登録日数は問わない。

Twitter中毒とヘビーユーザーとの違いは、中毒という言葉の示す通り、Twitterに対する依存度にある。ヘビーユーザーのツイートは、ツイートの間隔がまばらであった

り、最後のツイートから次のツイートまで日数が空いていたりするが、Twitter中毒者は数時間単位でツイートをおこなう。ただ単純にツイート数が多いだけ、被フォロー数・フォロワー数が多いだけではTwitter中毒だとは言えない。Twitter中毒者の例として、①分刻みでTwitterを見る、②現実の会話よりTwitterでのつぶやきを優先する、③ふと気がつくときTwitterを開いている、④フォロワーの全てをつぶやきをチェックしないと気が済まない、⑤ツイートの間隔が12時間以上空くことはない、などが挙げられる。

3 Twitter中毒の問題点

実際にTwitter中毒になることによって、どのような問題が生じるのだろうか。最たる問題は、Twitterの利用時間が日常生活に与える影響である。自分と自分がフォローした全ユーザーのつぶやきとが集合したページをタイムラインと呼ぶが、これを全てチェックするには一定の時間間隔でタイムラインを見る必要がある。フォロワーが増えれば当然チェックするつぶやきも増え、遡るのにもかなりの時間を要する。例えば筆者の場合、前日0時に就寝してから翌朝起きるまでの7時間分のタイムライン

を遡るのに、平均1～2時間ほど時間がかかっている。また、一度つぶやき始めるとフォロワーとの会話（リプライ）に時間を費やし、他の作業や活動ができないといった問題が生じる。

また、集中力の欠如も大きな問題である。他の作業をしている最中にもタイムラインがどうなっているのか気になる。それは作業の進捗や完成度にも影響する。通常ならば働くはずの自制心が徐々に働かなくなり、現実世界より仮想現実世界の活動を優先してしまうようになるのだ。

4 Twitter中毒を脱するには

多くのTwitter中毒者が楽しみにしていることは、他のユーザーとの交流である。自分の行為に対し瞬時に返ってくる反応に楽しみを感じることや己の存在価値を感じることに、現実世界では決して口に出すことのない意見や欲望、感情を露わにすることに喜びを見出している。

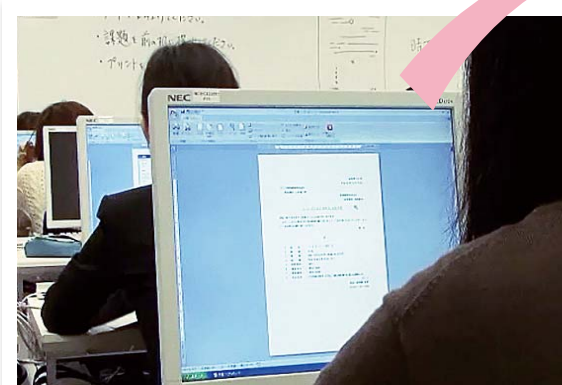
これらの対処法は、二つの世界にいる自分を明確に区別することだろう。Twitterでの交流に重きを置いてしまうのは、現実世界の自分と仮想現実世界の自分が同じ喜びを

共有してしまっているからこそ起こる現象だと考える。Twitter中毒は一種の依存である。単純なことだが、フォロワーを減らし喜びの元を直接断っていく方法や利用時間に制限を設けるといった方法も有効なはずである。Twitter中毒とは、自制心の欠如から起こるネット依存の一つである。これを打開するためには、現実世界とTwitterという仮想現実世界とを区別することが必要であり、仮想現実世界のめりこまないことが必要である。（人間情報学部3年）

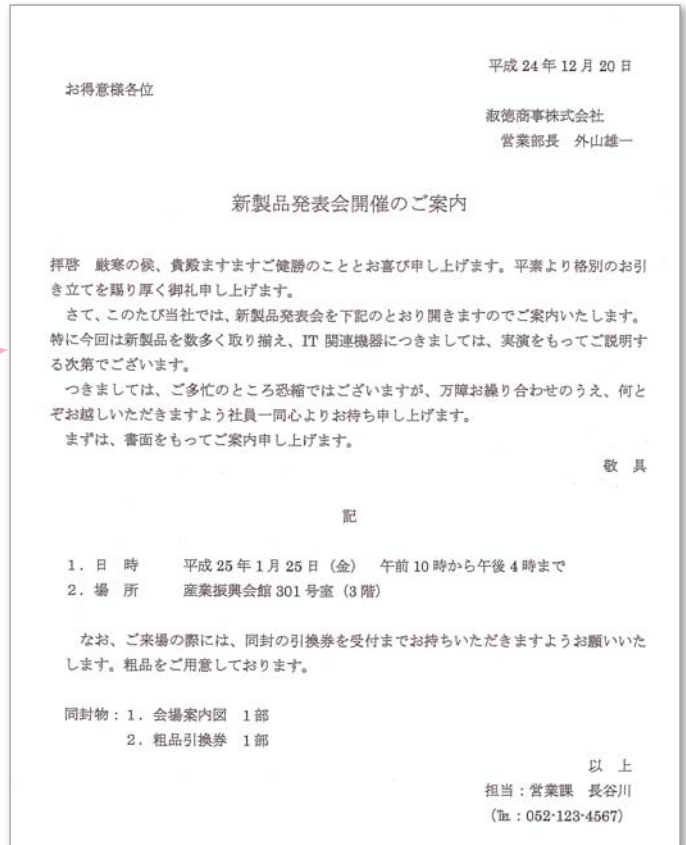


ビジネスコース 〈ライティング〉

このコースでは、手紙文、E-mail、社内・社外文書を正しく作成する方法の修得をめざしています。右の社外文書は、「新製品発表」の案内状です。



右の文書をパソコンで作成中…



(文学部英文学科3年)



クリエイティブコース 〈ライティング〉

このコースでは、エッセイやショートストーリーなどの創造的な文章を実践的に作成しています。右の作品は、〈手〉をモチーフとしたショートエッセイです。



◀〈手〉から想起することからのメモ

飛べない羽

五つの羽がなびく。私は生まれたときからこの羽を持っていた。鳥の羽のように広げれば大きくなった。虫の羽のように陽にすかせばすじが見えた。あまり厚みのない私の羽は空気抵抗も少ないはず。だけど、私は知っていた。生まれたときから羽を持っていたのと同じくらいあたり前のこと。私は空を飛べない。だってこの羽は人間に生えた場合「手」という名前に変わることを教わったから。

鳥の羽のように広げれば大きくなる私の羽。広げたとき、五つの羽の一番端にある太い羽はずっと風切羽だと思っていた。だけど、これは「親指」と言うらしい。そもそも、五つの羽は「指」と言うそうだ。そして、虫の羽と同じすじは「血管」だと言われた。手も指も血管も、羽とすじと同じに見えるのに全く違うものらしい。

私の羽は手という名前で空を飛べなかった。でも、羽と作りは似ている。きっと飛べる。じゃあ、手はどこを飛べるのだろう。

(メディアプロデュース学部3年)

特集の 終わりに…

基礎・応用科目は学術的文章の基礎を学ぶ場ですが、発展科目は多様な目的に応じた文章を自在に作成するためのスキルを修得する場です。このようなスキルの修得は、社会に出てから大いに役立つはず。この発展科目を積極的に履修して、より豊かな表現技術が身につくことを望みます。



書く書く
しかじか...

学生から、教職員から

外来の聞き下手、 話し下手

健康医療科学部教授
愛知淑徳クリニック内科
安藤富士子



一昔前に「3分診療」という言葉がありました。病院で散々待たされたあげく、医師が診てくれるのはたった3分、ということを押捺した言葉です。でも1分で約400字話せるのですから3分あればかなりの情報収集ができます。いつから、どこが、どのように調子が悪いのか、その症状はどんな状況で悪化し、どんな状況で軽くなるのか等々、名医は患者の話を聞くだけで診断の7割を下せる、とも言われています。それは必要な情報を的確に収集し、つなぎ合わせて一つの矛盾のない仮説を構築するからです。

…と、大学時代にそう習ったはずなのですが、どうも最近勝手が違います。

「どこのお加減が悪いのですか？」

「先生、俺、マジ、やばいんだよ。」

「何が、そんなにマジ、やばいんですか？」

「だからさあ、身体がめっちゃ、やばいんだ。」

「とりあえず、それはいつからですか？」

「この間から」

……

雰囲気や感触で話す、学生さんが話し下手なのか、私が聞き下手なのか。会話は3分ではなく、こうやってとめどもなく続くのです。

☆平成24年度後期「愛知淑徳大学図書館〈書評〉大賞」 受賞者決定（主催：図書館、協力：全学日本語教育部門）

応募総数230件のうち、6名が入賞しました。

大賞 辻 美里さん（文学部国文学科2年）

準大賞 久納美輝さん（メディアプロデュース学部1年）

ほか、佳作4名

☆「中日新聞」に学生の投稿文が掲載

見郷彰彦さん（文学部教育学科1年）

「失敗しても大丈夫だよ」（10月12日付朝刊「発言ヤング」欄）

加藤小巻さん（メディアプロデュース学部1年）

「報道の裏側に見えない真実」（11月10日付朝刊「ヤングアイズ」欄）

インフォメーション

☆第1回「全学日本語教育部門授業実践報告会」開催 （2012年8月24日）

本部門では、「日本語表現」科目の学修内容とその成果を公表する授業実践報告会を初めて開催し、これを学内に公開しました。当日は授業期間外にもかかわらず、学長をはじめ22人の参加があり、発表後の質疑応答も活発におこなわれました。

【第1部】平成24年度授業報告

- 全学必修科目「日本語表現T1」実施報告（外山敦子）

【第2部】実践報告・研究発表

- 学修成果の記述による教育的効果（入口 愛）
- 小論文作成における協同学修の試み
— 互恵的なテーマ理解のために —（森本俊之）
- 「日本語表現」科目の現状と課題
— 受講アンケートの分析を通して —（櫛井亜依）

※報告・発表者は、いずれも本部門所属教員



▲今年度の授業実践報告会

☆取材・講演依頼

- 「学研・進学情報」第45巻15号（2012年11月1日発行）
「大学におけるリメディアル教育の現状と課題」
- 本学文学部授業改善・情報交換会（2012年11月27日）
「全学共通履修科目「日本語表現T1・T2」の学修成果と課題」
- 龍谷大学FD研究会（2013年1月16日）
「学生の多様化に応じた教育体制の構築—愛知淑徳大学「日本語表現」科目を例として—」
- 皇學館大学FD講演会（2013年2月26日）
「愛知淑徳大学「日本語表現」科目における実践とその効果—大学での〈学修〉に必要な日本語運用能力向上のために—」

☆日本語検定団体受検（2012年11月10日実施）結果

受検者 189人（2・3級合計）

2級認定者〈準認定含む〉33人

2級認定率〈準認定含む〉30%

※受検者は昨年度から29人増え、過去最高でした。

編集後記



今号は特集頁を充実させたいとの思いから、通常より1頁増の拡大版でお届けします。1年生の授業を担当している私にとっては、学生の成長を感じながらの、嬉しい編集作業となりました。

（入口 愛）

発行年月日 2013年3月31日

編集／発行 愛知淑徳大学全学日本語教育部門
〒480-1197 愛知県長久手市平9
TEL: 0561-62-4111（代表）
nihongo@asu.aasa.ac.jp